

【平兵衛くん】振れ止め・ブレース補強は拾えますか？



天井の懐が1.5メートル以上の場合、振れ止め(ブレース)という補強の部材が必要になります。そのような場合の設定や入力方法はありますか？

- ✖ 平兵衛くんでは、天井に対して懐の高さの設定が出来ないため、正確な拾い出しは難しくなっています。しかし、部材登録や箇所入力機能を使って、代用することが出来ます。今回はその方法を2通りご紹介します。

それぞれの方法にはメリット・デメリットがありますので、
しっかりとご確認いただき、どちらかの方法での代用をお願い致します。

1 係数を利用して、部材登録から数量を求める方法

- ✖ あたりの係数が分かれば、部材登録で設定することが出来ます。
根拠を**実面積** 計算式を $1/\text{係数}$ で設定してください。

天井下地の種類を別で用意すると、集計を分けることが出来ます。

天井工事	属性1	属性2	単位
19型303 S5		4037	m
19型303 S5 振れ止めの有		7438	m

例…計算式 $1/2.3$ にした場合(部材拾い集計より)

種類	仕様名	根拠数量	単位	材料名	部材数量	単位
拾い項目	19型303 S5	75	m ²	振れ止め	32.61	個

天井実面積
 $75\text{m}^2 \div 2.3$ の数量

メリット

部屋を囲むだけで拾い出すことが出来る。(複数部屋がある場合も、下地に登録していれば作業は囲むだけ。)

デメリット

実際に割付する数量と誤差が生じる可能性がある。(天井の実面積に対して係数から数量を求めるため。)
割付を印刷することが出来ない。(図面上に表記出来ないため。)

2 箇所入力を利用して、図面に場所を割り付ける方法

 もうひとつの方法は、図面に直接入力する方法です。

箇所入力の**ライン**入力という機能を使って、間隔を指定し、実際に補強される場所を示す方法です。

箇所の**ライン**入力とは...始点(1点目)と終点(2点目)をクリックすると、その範囲内に指定した間隔で箇所を入力する機能です。

【箇所入力】のモードに入り、【**ライン**入力】にチェックを入れ、間隔を設定します。

1点目と2点目をクリックすると、その間に設定した間隔で箇所が入力されます



メリット

実際に図面の寸法から割付位置を割り出し、数量を求めることが出来る。

割付を印刷することが出来る。

デメリット

入力の手間がかかる。(自動で配置出来ないため、全て手動で入力する必要がある。)